

# 令和4年度第2回釧路警察署協議会議事概要

## 1 開催日時

令和4年9月2日(金) 午前10時00分から午前11時20分まで

## 2 開催場所

釧路方面釧路警察署 大会議室

## 3 出席者

### (1) 協議会委員 8人(定員11人)

会長 星 匠

委員 奥田 陽子、梅崎 明生、白田 和史、簗島 弘幸、吉村 眞由美、  
小畑 由紀、鈴木 幸雄

### (2) 警察署員 7人

署長 藤原 陸実

副署長 青木 俊英

警務官兼交通官 藤田 大

刑事・生活安全官 佐藤 輝久

地域官兼地域課長 山中 芳起

警備課長 井上 定

警務係長(事務局)

## 4 会長挨拶

本協議会の主たる協議事項は災害対策です。

平成5年に釧路沖地震が発生した時、机の下に潜り混んで揺れが収まるのを待ちましたが、その時の恐怖心や釧路市内の街並みの様子を見て、地震の怖さを身にしみて感じました。

皆様から災害に関する事前アンケートをいただいておりますが、活発な議論ができればと考えているので、よろしくお願ひします。

## 5 署長挨拶

第1回協議会では、委員の皆様から様々な警察活動に対する忌憚のない活発なご意見をいただき、感謝申し上げます。

昨日9月1日は防災の日であり、また、本年7月には千島海溝・日本海溝沿いにおける巨大地震の発生に伴う津波被害の想定が北海道から公表されており、太平洋沿岸地域に厳しい被害想定が発表されています。

今回の協議会では、当署における災害対策について説明させていただきますが、前回同様、幅広い意見・要望等をいただければと思います。

## 6 協議説明

### (1) 業務概況

### (2) 災害対策

### (3) 前回確認事項

- (4) 質疑応答
- (5) 懲戒処分等報告について

## 7 協議内容

### (1) 業務概況

委員：特殊詐欺の各種防犯機器について、購入する際の申し込み先はいずれか。  
警察：生活安全課で特殊詐欺の被害防止対策を行っており、また、防犯協会と連携して対応しているので、生活安全課に問い合わせをしていただきたい。  
なお、簡易的な機器であれば安価で購入が可能であり、取り付けも簡単で防犯効果も大きいことから、簡易的な機器の設置を推奨している。

### (2) 災害対策

委員：浸水域に所在する交番・駐在所には、災害に関する備蓄品はあるのか。  
警察：浸水地域の警察施設にある備蓄品については、既に高台に所在する警察施設に移動しており、相応の食料、装備品等を備えている。

委員：釧路町の山間部に居住しているが、沿岸部に所在する警察署から救助が来ないのではないかと不安である。

津波が引くまでは、警察署の救助活動はできないのか。

警察：津波に関しては、津波が引くまでは外に出られないのが現状である。

その場合、110番通報等の届出や屋外で活動できる警察官による情報収集の結果を受けて、全道規模で対策を行う。

委員：警察署の災害対策について、津波、地震、台風対策など、対応策がそれぞれ異なり、また、夏場と冬場でもそれぞれ対策が異なるが、警察だけでできることと、関係機関と連携を図りながらそれぞれ行える部分を行いあうものなどがあるので、今後の防災対策に際して、関係機関との役割分担や連携を深めて、防災体制の構築をしていければ良いと思う。

### (3) 前回確認事項

警察：阿寒駐在所付近における見通しの確保について、行政機関において駐在所周囲の木を伐採して改善を図り、また、駐在所員も車道付近にパトカーを駐車して注意喚起を行っている。

空き家対策について、現在も継続協議中であるが、調査に時間を要する案件であり、引き続き、行政機関と連携して対応する。

委員：阿寒駐在所の件について、素早く対応していただき、ありがとうございました。

委員：空き家対策について、今後も対応願いたい。

### (4) 質疑応答

委員：犯罪の発生傾向について、最近、犯罪年齢の若年化が言われているが、釧路警察署管内も同様の傾向にあるのか。

警察：当署管内の傾向について、薬物犯罪、特に大麻の使用事案は若年化の傾向が認められる。

対策として、生活安全課が小学校、中学校及び高校において、その年齢

に見合った薬物乱用防止教室を実施して、防犯対策を講じている。

一方、窃盗犯、特に万引き事案については、高齢化が進んでいる傾向にある。

特殊詐欺について、先日、警察官を名乗る者からの電話で「キャッシュカードが狙われている。自宅に警察官を派遣するので、警察官にカードを渡して下さい。」と言われ、自宅に訪れた警察官役の犯人にキャッシュカードを渡し盗まれた事件が発生したが、この犯人は22歳であり、特殊詐欺に関わる犯人は若年化の傾向にある。

委員：交通事故の現状に関して、交通事故当事者の年齢層の傾向を説明していただきたい。

警察：交通事故について、発生の総件数は減少傾向にあるが、そのうち高齢者が当事者となる事故は減少せずに高止まりの状態、高齢者の事故を減らせば交通事故の全体数を減少させることができる。

なお、当署では、運転免許証の自主返納の各種施策を推進しており、各種取組を通じて高齢運転者に対する広報活動を実施している。

委員：釧路市内を車両で走行すると、街路樹が伸びて信号機が見にくい場所があり、危険なので対処できないか。

警察：早急に対処するので、場所が判明すれば教示願いたい。

#### (5) 懲戒処分等報告について

### 8 次回開催予定

次回の開催について、令和4年11月下旬頃を予定している。

諮問事項については、

「初冬期における交通事故防止及び警察業務の紹介について」を予定している。